

2022年度【福岡】

登録ALC基幹技能者講習 修了試験 問題

1. 試験時間：60分
2. 問題数：25問（四者択一式：「最も不適當」なものを選ぶ）
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名を、解答用紙の所定の欄に正しく記入してください。記入がない場合や正しくない場合は、不合格となることがあります。
 - (3) 本冊子のページ数（問題記載ページ：1～8ページ）と試験問題数（25問）を確認してください。落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあつた場合には、黙って手を挙げてください。
 - (3) 机の上に置くことができるものは、「受講票」、「黒の鉛筆またはシャープペンシル」、「消しゴム」、「時計（携帯電話など、他の機能がないもの）」、「色鉛筆・マーカー等の印を付けるための筆記用具」です。
 - (4) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用できません。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ① 正解（最も不適當なもの）と考えるものを選択肢1～4の中から1つだけ選び、黒の鉛筆またはシャープペンシルで、解答用紙の回答欄に、その番号を記入してください。
 - ② 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消した後、新しい番号を記入してください。
 - (6) 試験中、質問等があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問には、お答えできません。
 - (7) 試験開始30分以降は、退室することができます。その際は、黙って手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。
 - (8) 試験終了の合図があつたら、筆記用具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
 - (9) この問題冊子は、持ち帰ることができます。なお、全会場の問題は、2022年度の全ての講習が終了した後に、正解と共にALC協会のウェブサイトで一定期間公開します。
 - (10) 試験開始の合図で始めます。

一般社団法人 ALC協会

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 登録基幹技能者は、現場での大量生産に努める。
- 2 登録基幹技能者は、品質面で質の高い施工を確保する。
- 3 登録基幹技能者は、コスト面で質の高い施工を確保する。
- 4 登録基幹技能者は、安全面で質の高い施工を確保する。

問題 2 建設技能者の職業能力基準やキャリアパスに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 レベル 1 は、指示された作業を手順に基づいて他の作業者と一緒に実施できる。
- 2 レベル 2 は、分担された作業を手順に基づいて実施できる。
- 3 レベル 3 は、現場管理や施工技術について元請と協議し、作業手順を組み立てることができる。
- 4 レベル 4 は、報告・連絡・相談等、施工上の伝達管理ができる。

問題 3 登録基幹技能者制度の活用に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設現場の品質確保、安全性向上などのためには、登録基幹技能者制度が有効な資格の一つである。
- 2 登録基幹技能者は、瞬発力に優れた技能者であるため、工事目的物のさらなるスピード向上等が期待できる。
- 3 総合評価方式で登録基幹技能者を評価することは、一般の技能者のスキルアップにつながる。
- 4 総合評価方式で登録基幹技能者を評価することは、優良な専門工事業者の確保等につながり、若年者の入職促進、技能の伝承につながる。

問題4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 十分な経験
- 2 熟達した作業能力
- 3 作業終了時の点検能力
- 4 OJT 教育を行う能力

問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 冷酷である。
- 2 情けがある。
- 3 厳しさがある。
- 4 暖かい配慮がある。

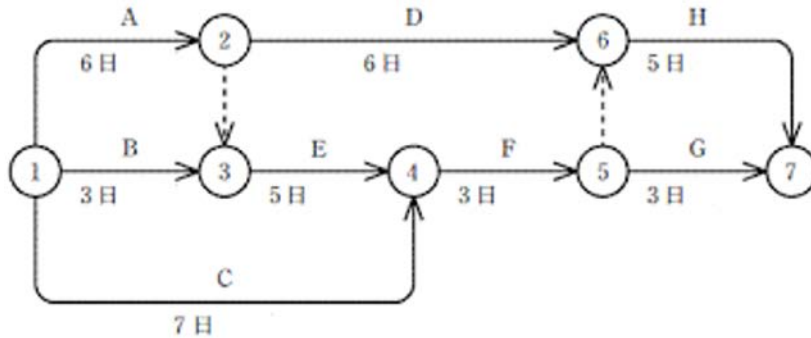
問題6 登録基幹技能者としての倫理・法令の遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 他の技能者が、生コンクリートに加水しないように注意した。
- 2 他の技能者が、鉄筋を間引きしていたので放置した。
- 3 他の技能者が、足場の筋交いをはずさないように伝えた。
- 4 他の技能者が、手抜き工事であったことを報告した。

問題7 レベルに応じた技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 OJT は、個々のニーズをつかんだ教育目標を設定する。
- 2 OJT は、指示通りにやらせる。
- 3 OJT は、自分で考え、工夫させ、試させ、結果を評価する。
- 4 OJT は、部下が進んで自己啓発に励む。

問題 8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



- 1 この工程表のクリティカルパスは、A→E→F→G である。
- 2 この工程表の工期は、19 日である。
- 3 作業 A のトータルフロート（余裕日数）は、0 日である。
- 4 作業 G の最早開始時刻（EST）は、14 日である。

問題 9 わが国の建設業における労働災害減少の要因に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 より安全な施工法の確立
- 2 有人化・小型化の促進
- 3 作業手順書の整備
- 4 効果的な安全教育の実施による関係者の安全水準向上

問題 10 PDCA サイクルに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 第 1 段階では、安全の確保は当然のこととして、品質、工程、原価の面で優れた計画を練り上げ、計画段階でチェックのタイミングや品質基準値等の判断基準を適切に設定しておくことが重要になる。
- 2 第 2 段階では、計画に基づき適切に施工するとともに、実際の施工状態を容易に判断できるようなデータを正確に調査・記録しておくことが重要になる。
- 3 第 3 段階では、計画通りに実施されているか、調査・記録したデータを検証・判断し、差異がある場合にはその要因を明確にするとともに、必要に応じて対処する。
- 4 第 4 段階では、第 3 段階における判断結果に基づき、是正処置を検討することなく、新たに計画を立てる。

問題 11 作業方法の改善に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 作業方法の改善は、事故・労働災害、工事の不具合等を防止するとともに、作業員の労働意欲を高め、作業結果が良質で、作業効率を向上させることが目的となる。
- 2 作業の流れにムリ・ムラ・ムダがあったり、手間がかかることはあるが、これらのことはあまり考えず、作業方法の改善を進める。
- 3 現状に疑問を持った「今一番困っている作業」の中で、緊急度や重要性の高いテーマを選んで改善する。
- 4 作業方法の改善では、5W1Hによる問題検討方法や4段階による作業方法の改善の進め方等で問題の検討を行う。

問題 12 原価管理の流れに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 見積原価の管理では過去の実績等に頼らず、その都度、施工計画の検討、単価調査を行い、じっくりと時間をかけ、見積もり原価の精度を上げる。
- 2 請負契約後に、現場条件に合わせた実行予算を作成する。
- 3 実行予算は、施工計画と一体となって作成する。
- 4 実行予算と実績を比較しながら、予算内に収めるように施工管理する。

問題 13 専門工事業者の予算実績管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 実行予算と実績を比較して、予定通りに進めることが予算実績管理である。
- 2 現場においては、特に施工量に対する人工数の目標を管理することが原価管理では重要である。
- 3 原価管理では、契約した工事がスムーズに行くように自社の中での計画や調整を優先する。
- 4 作業が滞ったり手戻りとなったりすれば人工がかかって原価を圧迫してしまうことになるので、他の外注業者との調整も必要である。

問題 14 作業標準書による施工品質の確保・向上に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工品質を確保し、向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化を図ることが必要である。
- 2 標準化した作業内容を文書化したものが「作業標準書」である。
- 3 登録基幹技能者は、作業標準書を熟知し、作業の最初には施工チーム内にその内容を伝達する。
- 4 登録基幹技能者は、特に未熟練者や新規入場者に対しては、作業標準書に基づいた場当たりのにならない指導や指示が求められる。

問題 15 品質管理QC（Quality Control）に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 部材の強度・寸法等のばらつきをコントロールし、顧客の要求条件を満たす品質をつくり出すことが品質管理である。
- 2 品質管理を確実に実施するためには、多少の出費は総合工事業者の範疇で覚悟する。
- 3 品質管理とは、「買い手の要求に合った品質の物又はサービスを経済的につくり出す」こと、と定義されている。
- 4 顧客の要求条件を満たす品質を「経済的に作り出す」ためのカギは、品質のばらつきがランダムに発生するのではなく、正規分布にしたがう特性に着目することである。

問題 16 墜落制止用器具に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 これまで建設業等の高所作業において使用される胴ベルト型安全帯は、墜落時に内臓の損傷や胸部等の圧迫による危険性が指摘されている。
- 2 厚生労働省では、安全帯の名称を「墜落制止用器具」に改め、その名称・範囲と性能要件などを見直すとともに、墜落制止用器具のガイドラインを策定している。
- 3 墜落制止用器具はフルハーネス型安全帯を使用することが原則となり、2022年1月2日からは完全施行となっている。
- 4 高さ2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいては、墜落制止用器具のうちフルハーネス型安全帯を用いて行う作業では、「安全衛生特別教育」を受けなくてもよい。

問題 17 建設業法令ガイドラインに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職者を促進することが必要であるが、政府一体となって元請下請間の取引適正化に取り組んでいる。
- 2 赤伝処理等による一方的な差し引き等、下請負人へのしわ寄せによって技能労働者への適正な賃金水準が確保できず、建設業が持続的発展の阻害要因となっている。
- 3 「建設業法令ガイドライン」は、元請下請間の建設業法に違反するかを具体的に示しているが、法令違反行為についてはその都度異なるので個別に検討することとなる。
- 4 「建設業法令ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 18 ALC パネル工事に関する用語とその説明に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 設計荷重：パネル及び取付け構法に要求される荷重をいう。
- 2 意匠パネル：パネルのうち表面に模様または傾斜の意匠加工を施したものをいう。
- 3 パネル有効厚さ：意匠パネルの最も厚い部分の厚さをいう。
- 4 かかり代：パネル短辺が下地に接する部分のパネル長辺方向の長さをいう。

問題 19 ALC パネルの耐久性能、環境負荷低減性能に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 ALC パネルは適切な仕上げ・防水を行うことを前提としている。
- 2 仕上げ材・シーリング材・屋根防水材などは、建物の供用期間を下回る耐久性であることが多い。
- 3 ALC パネルの現場加工による端材は一般廃棄物として処理する。
- 4 環境負荷の少ない方法で解体・処理する上で必要とされることの一つに、分別解体がある。

問題 20 敷設筋（ふせつきん）構法で使用する金物に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 スラブプレート
- 2 マルカン
- 3 角座金 R
- 4 ウケプレート

問題 21 ALC パネルの種類と寸法の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 ALC パネルの幅は、600mm を標準として最小幅 300mm までである。
- 2 外壁用 ALC パネルの支点間距離は、パネル厚さの 30 倍までである。
- 3 外壁用 ALC パネルの厚さは、100、120、125、150mm である。
- 4 ALC コーナーパネルの幅寸法は、400mm 以下である。

問題 22 ALC パネル工事に関連する工事に関して、最も不適当なものはどれか。

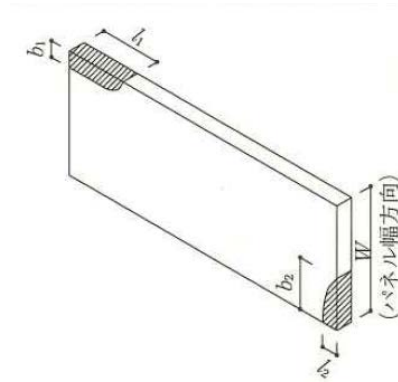
- 1 屋根防水・他部材シーリング工事
- 2 耐火被覆工事
- 3 山留工事
- 4 笠木等金属工事

問題 23 ALC パネルの施工に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 耐火目地材は、幅が 50mm 以上のものを用い、厚さを約 20%程度圧縮して使用する。
- 2 充填セメントモルタルの充填後は、約 24 時間（冬季 48 時間）は可能な限り振動および衝撃を与えないようにする。
- 3 屋根用 ALC パネルの上に資材を搬入する時は、合板などを使用してパネルを保護してれば、スペース確保のために 1 ヶ所にまとめて資材を置いても良い。
- 4 補修用セメントモルタルは、練混ぜ後 30 分程度で使い切るよう、必要量ごとに練り混ぜて使用する。

問題 24 ALC パネル工事において、受入検査時に補修して使用できる欠損部分の大きさの目安に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 $b_1 \leq 80 \text{ mm}$
- 2 $l_1 \leq 900 \text{ mm}$
- 3 $b_2 \leq W/2$
- 4 $l_2 \leq 80 \text{ mm}$



問題 25 ALC パネル工事において、設計者が必ず内容を定めなければならない特記事項に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 耐荷重性能
- 2 さび止め塗料の種類
- 3 ALC パネルの取付構法の種類
- 4 シーリング材の種類